

48

32 48

史實調査參考資料報告

所屬(固有名)		職官		摘要	
所屬	部	職	官	終戦時ノモノヲ	記ス
野戦重砲兵第一聯隊	野	中	隊	終戦時ノモノヲ	記ス
沖繩本島	沖	隊	本	終戦時ノモノヲ	記ス
支那事變以降ニ	支	隊	本	終戦時ノモノヲ	記ス
於ケル自己ノ略	於	隊	本	終戦時ノモノヲ	記ス
歴	歴	隊	本	終戦時ノモノヲ	記ス
所在部隊ノ編成	所	隊	本	終戦時ノモノヲ	記ス
年月日及編制裝	年	隊	本	終戦時ノモノヲ	記ス
備ノ概要	備	隊	本	終戦時ノモノヲ	記ス
所屬部隊作戦經	所	隊	本	終戦時ノモノヲ	記ス
過ノ概要	過	隊	本	終戦時ノモノヲ	記ス
終戦(又ハ主力	終	隊	本	終戦時ノモノヲ	記ス
ノ戦闘終了)	ノ	隊	本	終戦時ノモノヲ	記ス
後ノ概況	後	隊	本	終戦時ノモノヲ	記ス
先	先	隊	本	終戦時ノモノヲ	記ス
歸郷(又ハ連絡)	歸	隊	本	終戦時ノモノヲ	記ス
其ノ他ノ參考事	其	隊	本	終戦時ノモノヲ	記ス
項	項	隊	本	終戦時ノモノヲ	記ス
備考	備	隊	本	終戦時ノモノヲ	記ス

野戦重砲兵第一聯隊
職官
氏名
[Redacted]

昭和十九年六月二十四日
唯一個聯隊完備(陣列状)

昭和十九年七月一日
那覇港ニ入港、爾來作戦
作業ニ従事、中昭和二十年三月三日
甲斐ノ隊ニ合セシ、即ち夜逃シ、組織的
ヲ交ヘ、昭和二十年六月五日、主力ハ消滅
シ、隊員散、各人行動、止ムナキニ至ル。

昭和二十年六月一日
右足折、折リ、傷
取隊本部医務室壕内ニテ治療中
同年八月一日終戦ニ依リ、米軍沖繩
隊ニ收容所内トナル
昭和二十一年三月三日未舟ニヨリ輸送セラレ
同年同月二十七日浦賀馬場援隊所内トナル

將校ニ記載セシメ第一復員省史實部ニ送付ス

最後ノ所屬部隊
ヲ主ニシ向ソノ
以前ノ所屬部隊
ノ分ヲモ概記ス

歸還輸送ノ状況
ヲモ併記ス

史實調査參考資料報告

摘要

備考	其ノ他ノ參考事項	先	歸郷(又ハ連絡)	終戰(又ハ主力ノ戦闘終了)後ノ概況	所屬部隊作戦經過ノ概要	所在部隊ノ編成年月日及編制裝備ノ概要	職官	終戰時ノモノヲ記ス
						氏名		
將校ニ記載セシメ第一復員省史實部ニ送付ス					昭和三十九年十月十日ヨリ十月十三日南西航空隊作戦本部。 昭和三十九年三月十日ヨリ十月十日南西航空隊作戦本部。 天部作戦本部。	昭和三十九年三月十日ヨリ三月三十一日浦賀上陸。 昭和三十九年三月十日ヨリ三月三十一日浦賀上陸。 昭和三十九年三月十日ヨリ三月三十一日浦賀上陸。	陸軍中尉 [Redacted]	職ノ變更及主ナル参加戦闘名ヲ記ス

35

35

M

史實調査參考資料報告

野戦砲隊長

陸軍少尉

終戦時ノモノヲ
記ス

所屬部隊
(固有名)

宮古島

職官
氏名

[Redacted Name]

職ノ變更及主ナル
參加戦闘名ヲ
記ス

支那事變以降ニ
於ケル自己ノ略
歴

昭和十八年六月十五日臨時召集ニ依リ西部七十四部隊ニ隊
員十員ヲ補充シ陸軍少尉ニ階級ヲ與ヘシ同年十月十日陸軍
兵科幹部候補生ニ命ゼラレ昭和三十二年五月十日野戦砲隊
長ニ任ズ同年十月十日同隊長ニ任ズ現野戦砲隊長
命ゼラレ昭和三十二年五月十日野戦砲隊長ニ任ズ現野戦砲隊
長ニ任ズ

所在部隊ノ編成
年月日及編制裝
備ノ概要

昭和十九年六月十五日野戦砲隊第一隊隊員二大隊
(宮古島) 下等指揮班一、方二、方三中队
九六十五榴十三門 六〇名 車輛九輛

所屬部隊作戦經
過ノ概要

昭和二十年三月三日宮古島ニ於テ天號作戦ニ
參加セリ

最後ノ所屬部隊
ヲ主ニシ向ソノ
以前ノ所屬部隊
ノ分ヲモ併記ス

終戦(又ハ主力
ノ戦闘終了)
後ノ概況

大隊及中队員ノ自活班トシテ自活ニ専念ス

歸還輸送ノ状況
ヲモ併記ス

先
歸郷(又ハ連絡)

[Redacted]

其ノ他ノ參考事
項

備考

將校ニ記載セシメ第一復員省史實部ニ送付ス

史實調査參考資料報告

所屬部隊 (固有名称)	職官	全右所在地	終戦時ノモノヲ 記ス
聯隊 聯隊 聯隊	大隊本部付(指揮官) 大隊中尉	支那事變以降ニ 於ケル自己ノ略 歴 昭和十六年三月 任少尉 昭和十七年三月 比島攻陥ノ参加 昭和十七年七月 昭和十七年八月 任中尉 昭和十七年九月 那珂上陸 昭和十七年三月 神龍隊ノ参加 昭和十七年三月 任中尉	職ノ變更及主ナル 参加戦闘名ヲ 記ス
所在部隊ノ編成 年月日及編制裝 備ノ概要	最後ノ所屬部隊 ヲ主ニシ向ソノ 以前ノ所屬部隊 ノ分ヲモ概記ス	野隊砲隊隊編成裝備但し軽列車輛 ノ隊中彈藥二十箱 歸成月日 昭和十九年六月二十六日	歸還輸送ノ状況 ヲモ併記ス
所屬部隊作戦經 過ノ概要	歸還輸送ノ状況 ヲモ併記ス	昭和十七年三月下旬 甲隊對面下 令新城ニ展開ス 四月下旬 中頭地区 西海岸正面 協力ス 四月下旬 新城内 銀行場方面 協力ス 五月下旬 收死正面ニ 協力ス 五月下旬 夫木庄 協力ス 五月下旬 首尾以南 主力南に 一部是日 正港 六月 新城 一島 正港ニ 協力ス 昭和十七年三月 甲隊對面下 令新城ニ展開ス 四月下旬 中頭地区 西海岸正面 協力ス 四月下旬 新城内 銀行場方面 協力ス 五月下旬 收死正面ニ 協力ス 五月下旬 夫木庄 協力ス 五月下旬 首尾以南 主力南に 一部是日 正港 六月 新城 一島 正港ニ 協力ス	終戦(又ハ主力 ノ戦闘終了) 後ノ概況
先 歸郷(又ハ連絡)	歸郷(又ハ連絡)	[Redacted]	[Redacted]
其ノ他ノ參考事 項	[Redacted]	將校ニ記載セシメ第一復員省史實部ニ送付ス	[Redacted]

69

69

m

浦賀上陸地支局

(昭和二十七年十二月十四日)

史実調査参考資料報告

摘要

所在地

南西諸島宮古島

職官

野戦重砲兵第... 陸軍少佐

備考

所属部隊

野戦重砲兵第一聯隊

氏名

陸軍少佐

職、変更及

支那事変以降、略歴

昭和十二年八月野戦重砲兵第六聯隊附トシテ北支出陣、永定河沿河作戦ヲ、昭和二十二年二月迄、古浦線沿線ニ駐陣シタルヲ加、昭和二十三年三月、砲兵情報第二聯隊中隊長東宮實駐セ、昭和二十五年七月砲兵情報第二聯隊中隊長、南支宮古島駐セ、昭和二十七年七月香港攻勢、十七年三月比島轉進、第二次分、コシロル攻勢、十七年七月滿洲野戦重砲兵聯隊、十七年十月野重一大隊長、十九年七月宮古島出陣、同地ニ於テ終戦

職、変更及

所屬部隊、編成年月日、及編制整備、概要

野重一 明治二十三年 編成、昭和十四年 白刃隊、第六、十五、

最終、所屬部隊ヲ以テ、尚其、以テ、所屬部隊ノ分、モ、概、記、ス

所屬部隊、戦經過、概要

海軍部日方三大隊、十七年七月以降、沖繩、東部、在リ、作戦セリ、第一大隊、宮古島、於テ防衛、任セ

最終、所屬部隊ヲ以テ、尚其、以テ、所屬部隊ノ分、モ、概、記、ス

終戦又ハ、戦斗終了後、状況

白濱、百餘ノ乗員、破損、島、等、在リ、概、ニ、十、日、リ、確、保、セ、リ、引、退、強、送、ハ、事、後、任、セ

帰還輸送、状況ヲモ、併、記、ス

帰郷又ハ、連絡先

[Redacted]

其、他、参、考、事項

聯隊本部、英、第二大隊、十九年七月以降、中、統、本、島、在、リ、テ、作、戦、セ、リ、本、年、六、月、以、降、知、ル、ニ、由、リ、テ

22

22